

F2-53

岐阜県恵那市大井町における生活領域と地域資源に関する考察
—(その2)土々ヶ根・岡瀬沢地区の視対象・視点場と生活領域との関係について—
A Consideration about Life Field and Local Resources in Oi-cho of Ena City, Gifu Prefecture
(Part2) About viewpoint and object of life field in Dodogane and Okasezawa areas

○石原英樹¹, 横内憲久², 岡田智秀², 押田佳子², 井出純一³, 大滝隆典¹, 泉直輝¹
 *Hideki Ishihara¹, Norihisa Yokouchi², Tomohide Okada², Keiko Oshida²
 Junichi Ide³, Takanori Otaki¹, Naoki Izumi¹

Abstract: In this part of this study, we investigated relation the characteristic of viewpoint and object in life field of local people. As a result, we clarified that Mt. Kasagi, Mt. Ena and Oi-cho view are important local objects in Dodogane and Okasezawa areas.

1. はじめに—本稿では、前稿で述べた「土々ヶ根・岡瀬沢地区景観まちづくりワークショップ」(以下 WS)において挙げられた視対象と視点場の特徴とともに、それらと地域住民の「生活領域」との関係について考察を行う。

2. 研究方法—上述の WS において参加者が挙げた「好ましい視対象」と「好ましくない視対象」の指摘傾向や視点場の特徴、およびそれらと前稿で抽出した地域住民の「生活領域」との位置関係などについて分析を行う。さらに、「好ましい視対象」については、視線方向や視知覚特性を捉え、その結果と当地域の今後の整備方針を通じて現状の課題を導く。

3. 結果および考察

(1) 視対象と視点場の特徴—Table 1 は「好ましい」「好ましくない」視対象とそれらの指摘数および視点場を、Figure 1 は視対象と視点場の分布状況および前稿で抽出した「生活領域」を示したものである。Table 1 より、「好ましい視対象」は全 20 ケ所挙げられ、それらを眺める視点場は全 56 ケ所と視対象の数を大きく上まわった。これより、当地区は起伏に富んだ地形的特徴を有することから、複数の多様な視点場から一つの視対象が眺められる傾向にあるといえよう。続いて Table 1 より「好ましい視対象」として、半数以上の指摘があったものは、「⑥恵那山」「⑩大井町中心街」「③笠置山」「⑦御嶽山」の 4 つであった。これらはいずれも遠景の眺望対象であることで共通する。当地区が高台であるとともに、高さのある施設・構造物がほとんど存在しないため、開けた眺望に恵まれている様子が伺える。一方、「好ましくない視対象」は 3 件と少ないながらも「中央自動車道」が挙げられた。この周辺では好ましい視対象である「③笠置山」「⑩大井町中心街」を望む際、その高架によって眺望が遮断されるためと考えられる。

(2) 視対象・視点場と「生活領域」との関係—Table 1, 2, Figure 1 より、前稿で抽出した 4 割以上の参加者で指

摘される「生活領域」では、全 20 ケ所の好ましい視対象のうち 2 ケ所(10%)、好ましい視点場は全 56 ケ所のうち 11 ケ所(20%)が存在する。これより、地域の好ましい視点場および視対象は「生活領域」の外側に多く存在することが捉えられた。しかしこの「生活領域」に含まれる好ましい視点場のうち、「38.甚平坂公園」「39.恵那農業高校周辺」にはそれぞれ 6 件、4 件と半数以上が挙げられた。これよりこれら 2 ケ所は、地域の生活領域を形成する要因として重要な視点場といえよう。したがって、今後当地域における建設行為にあつては、現状で好まれている視点場から視対象への視線を分断しないよう十分に留意すべきであろう。また、好ましくない視対象とその視点場は 16 ケ所のうち 3 ケ所(20%)と少数ながら領域内に存在する。これらは身近な生活領域周辺に存在することから、できるだけ地域住民が主体的に改善していく姿勢が望まれる。

(3) 視対象の視知覚特性分析—前述した「好ましい視対象」のうち上位 3 つの「③笠置山」「⑥恵那山」「⑩大井町中心街」に着目し、これらの視角と視距離を示したものを Figure 2 に示す。これより「③笠置山」「⑥恵那山」に対する仰角は 5～7 度であることがわかる。一般に山の仰角として 5～12 度の範囲は、山腹にも興味をもて、山容全体を容易に見渡すのに望ましいとされている^[1]。このことより「③笠置山」「⑥恵那山」は、当地区において優れた山並みとして眺められることが認識できる。また、「⑩大井町中心街」は俯角が 2～3 度と俯瞰の遠景領域(緩やかな俯角)にあることより、特定の事物というよりも、中心街の広がりや漠然と鑑賞する意識が働いていると考えられよう^[2]。

(4) 当地域における課題—本年 9 月に公表されたリニア中央新幹線に着目すると、Figure 2 より「⑥恵那山」「③笠置山」に関しては、視点場 10 地点という半数以上が計画路線周辺に分布しており、これに加え「⑥恵那山」に関しては、現在の視点場から路線構造物により不可視な領

1 : 日大理工・学部・交通 2 : 日大理工・教員・まち 3 : 日大理工・院・不動産

Table1. The result of view evaluation in Dodogane and Okasezawa

好ましい視対象									
視対象名	指摘数 [人]	視対象番号 [合計数] ※Figure1 と対応	視対象名	指摘数 [人]	視対象番号 [合計数] ※Figure1 と対応				
1	⑥恵那山	9	5,10,16,17,18,25,28,38,39	[9ヶ所]	11	⑩阿木川	4	46	[1ヶ所]
2	⑫大井町中心街	9	7,8,19,21,22,28,30,33	[8ヶ所]	12	⑪富士親野神社	3	41	[1ヶ所]
3	⑬笠置山	8	5,7,14,25,31,34,40,42,43,45	[10ヶ所]	13	⑮観音寺溜池	2	46	[1ヶ所]
4	⑰御嶽山	6	1,25,38,39,40,44	[6ヶ所]	14	⑲銀の森	2	15	[1ヶ所]
5	④中央本線	5	39,46	[2ヶ所]	15	⑳志那峡ランド	1	52	[1ヶ所]
6	①濁川	4	35,49	[2ヶ所]	16	㉑河岸段丘	1	12	[1ヶ所]
7	⑧恵那峡	4	39,40,46	[3ヶ所]	17	㉒阿木川対岸	1	22	[1ヶ所]
8	②大井ダム	3	53,55	[2ヶ所]	18	㉓中央本線トンネル	1	52	[1ヶ所]
9	㉔田圃風景(岡瀬沢)	3	36,37	[2ヶ所]	19	㉕中央自動車道	1	52	[1ヶ所]
10	⑬ツツジ群	3	11,13	[2ヶ所]	20	㉖濁川対岸の家並み	1	48	[1ヶ所]

好ましくない視対象									
視対象名	指摘数 [人]	視対象番号 [合計数] ※Figure1 と対応	視対象名	指摘数 [人]	視対象番号 [合計数] ※Figure1 と対応				
1	中央自動車道	3	×1,×2,×3	[3ヶ所]	8	甚平坂公園	1	×8	[1ヶ所]
2	鉄くず探窟所	2	×10	[1ヶ所]	9	道路幅員	1	×9	[1ヶ所]
3	濁川	2	×14	[1ヶ所]	10	JR 中央本線 上部の電線	1	×11	[1ヶ所]
4	雑木林	1	×4	[1ヶ所]	11	銀の森	1	×12	[1ヶ所]
5	道路が狭い	1	×5	[1ヶ所]	12	道路幅員	1	×13	[1ヶ所]
6	宗教団体の建物	1	×6	[1ヶ所]	13	パチンコ店	1	×15	[1ヶ所]
7	桜街道	1	×7	[1ヶ所]	14	倒産した店	1	×16	[1ヶ所]

Table2. The result of viewpoint evaluation in Dodogane and Okasezawa

好ましい視対象					
視対象番号	視対象名	指摘数 [人]	視対象番号	視対象名	指摘数 [人]
38	甚平坂公園	6	29	恵那農業高校裏の桜	1
39	恵那農業高校	4	32	恵那峡テニスクラブ周辺	1
41	岡瀬沢交差点	3	42	鴨田橋	1
30	中央本線トンネル上部周辺	2	44	安原第一溜池周辺	1
40	栗畑	2	45	ココストア	1
25	大井第二小学校	1			

域が生まれ、恵那山を視界に収めることが困難になる地点が発生する危険性がある。さらに、今回挙げられた視点場の大部分は白地地域に存在することから、今後の宅地整備によっても視点場の消失が懸念される。

以上より、当地区における魅力的地域資源は抽出できたが、リニア中央新幹線軌道整備をはじめとする新規計画が影響し、これらが消失してしまう危険性があることを示した。これより今後の展開として、現状の計画・整備を不用意に否定するのではなく魅力的地域資源との折り返いを考えた景観保全・創出策を検討していきたい。

4. 参考文献

- [1]樋口忠彦:「景観の構造」, 技報堂, pp.50-63, 1975.10
- [2]篠原修編:「景観用語辞典」, 彰国社, pp.46-47, 1998.11

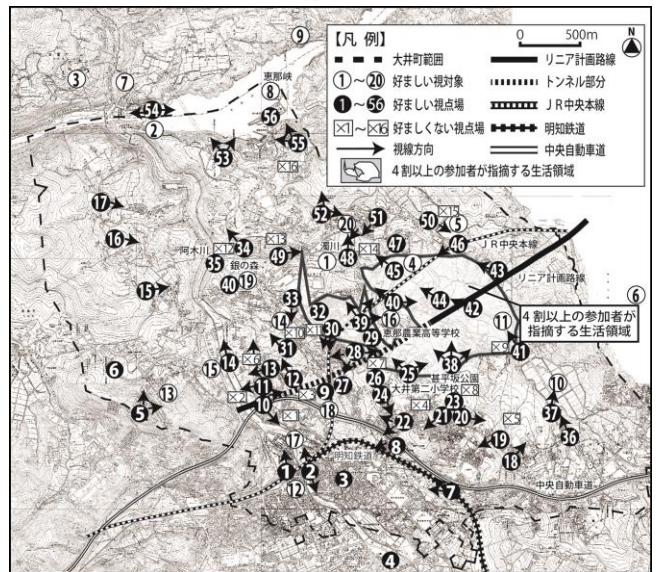


Figure1. The relation viewpoint and object to life field



Figure2. The result of analysis about popular viewpoints